

氏名	KUBOTA Yuko	E-mail
	窪田 裕子	y-kubota @tsuruga-nu.ac.jp
所属	助産学専攻科	
職位	助教	
取得学位	修士（助産学）	
最終学歴	国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻 助産学分野	
主な職歴	福井赤十字病院 1985/04/01-1989/03/31 日本赤十字社医療センター 1989/04/01-1993/09/30 東京都北区保健センター（非常勤）1998/04/01-2002/03/31 渋川産婦人科医院 師長 2002/01-2013/02/28 育良クリニック 2013/03/01-2013/12/31 母子保健研修センター助産師学校 2014/04/01-2016/03/31 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野（非常勤） 2016-2018 高輪台レディスクリニック（非常勤）2017/06-2018/03 敦賀市立看護大学 助教 2018/04/01～現在に至る	
学会活動 (所属学会・役職)	日本助産学会 2005/07/- (業務検討委員 2005/07/～2012/03) 日本母性衛生学会 福井県母性衛生学会 日本助産師会 東京都助産会(教育委員 2014～2015) 福井県助産師会 2019～	
学術賞		
その他	看護師 助産師 新生児蘇生法修了（「1次コース」インストラクター） 全国助産師教育協議会主催ファーストステージ研修修了 CLoCMiP®(助産実践能力習熟段階)レベルⅢ認定	

専門分野	助産学 母性・女性看護学
キーワード	自然分娩 母乳育児 プレコンセプションケア
研究課題	プレコンセプションケア
主な著書・論文	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師の活動現場から 母乳育児への Relationship、窪田 裕子、助産師：日本助産師会機関誌, 2005-11-01, Vol.59(4), pp.64～66、ISSN: 1347684X ・窪田裕子、【診療所に助産師を】 渋川産婦人科医院での助産師の活動、助産雑誌 2006, Vol.60(8), pp.689-693 ・共同研究：中村郁美,窪田裕子,江幡芳枝,内藤哲夫、「研修の学習効果を実践する際のストレスと葛藤」 2016.12.18 発表 ISSN 2432-9355 PAC 分析研究 2017 第1巻（創刊号） ・窪田裕子、産後1年半までの女性の血圧と体重の実態、修士課題研究論文 助産学分野 平成29年度（国際医療福祉大学大学院）2018年

	<p>学会発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい助産ケアを実現させるための助産ケアシステムの構築 医療施設に勤務する助産師及び開業助産師の業務分析を通して、村上 睦子, 平澤 美恵子, 松岡 恵, 福島 恭子, 神谷 整子, 窪田 裕子, 日本助産学会業務検討委員会、日本助産学会誌 2008/02 ・助産師の適正な人員配置を考えよう 病院(ローリスク、ハイリスク)、クリニック勤務助産師の業務実態から 助産師の適正な人員配置を考えよう 診療所に勤務する助産業務の実態から、村上 睦子, 平澤 美恵子, 松岡 恵, 福島 恭子, 神谷 整子, 窪田 裕子, 砥石 和子, 平成 21 年度日本助産学会業務検討委員会、日本助産学会誌 2013/05 ・助産師の適正な人員配置を考えよう 病院(ローリスク、ハイリスク)、クリニック勤務助産師の業務実態から 助産師の適正な人員配置を考えよう 総合周産期母子医療センター勤務助産師の実態調査から、砥石 和子, 平澤 美恵子, 松岡 恵, 村上 睦子, 福島 恭子, 神谷 整子, 窪田 裕子, 平成 21～23 年度日本助産学会業務検討委員会、日本助産学会誌 2013/05 ・産後 1 年半までの女性の血圧と体重の実態、窪田裕子,森越美香、2019/03/03 日本助産学会
主な社会・地域活動	<p>日本赤十字社助産師学校同窓会（松契会）クラス委員担当</p> <p>日本助産学会シンポジウム指定発言 2013/05、東京母乳の会シンポジウムパネリスト、東京都看護協会パネリスト</p>
その他	

担当科目	周産期の診断と技術Ⅰ～Ⅲ、助産学実習Ⅰ～Ⅳ
コメント	<p>体力、気力、学力。</p> <p>コミュニケーションを大切に助産の道を共に歩みましょう。</p>